



平成 27 年度

自己評価報告書

学校法人郡山学院

ケイセン ビジネス公務員カレッジ

平成27年度

自己評価報告

ケイセンビジネス公務員カレッジ

1 教育目標

- (1) 人づくりを通じて社会に貢献する。
- (2) 学生の夢を実現させる。
- (3) 社会に有用な人材を育成する。

2 基本方針

- (1) 学生の「夢」実現のため、本校の強みである「厳しく、優しく、ていねい」な指導により、学生の早期自立を図り、公務員合格率及び就職内定率の向上を図る。
- (2) ふるさと福島県の復旧・復興を担う若者の養成に努める。
- (3) 教職員の指導力の向上に努力する。

3 今年度の重点目標

- (1) 「しっかりしたあいさつ」のできる学生・職員をつくる。
- (2) 公務員合格率の向上
- (3) 就職内定率の向上
- (4) 入学者の確保及び在籍者数の保持
- (5) 保護者との意思の疎通を図る
- (6) 報告・連絡・相談の徹底による情報の共有化（含む、危機管理対応）

4 評価項目の達成、取組状況

(1) 教育理念・目標

評価 （4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切）

評価項目	評価
学校の理念・育成人材像は定められているか。	4・3・2・1
学校における職業教育の特色は理解されているか。	4・3・2・1
社会経済のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	4・3・2・1

ア 課題

本物のビジネスパーソンの育成を目標として、社会を生きていくための知力を身に付けた人材育成に努めており、その理念・育成人材像は教職員間での共通理解がなされている。社会経済のニーズを把握する点で十分でない部分があり、地域社会や企業との連携をさらに強化する必要がある。

イ 改善方策

将来を見据えての情報の分析を行い、有用な人物像の確立と地域や社会のニーズに応えられる特色ある職業実践専門課程への申請・登録を行う。

(2) 学校運営

評価項目	評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4・3・2・1
運営組織や意思決定機関は、規則等で明確化されているか。	4・3・2・1
人事・給与に関する規定等は整備されているか。	4・3・2・1
地域社会や企業との信頼関係が醸成されているか。	4・3・2・1
情報システム化等業務の効率化が図られているか。	4・3・2・1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4・3・2・1

ア 課題

事業計画、事業報告、各種諸規定等は作成・保管・整備され、規則・規定等で明確にされた意思決定システムにより適正な運営がされている。しかしながら、地域社会及び企業との連携において不十分な点があり、なお一層ホームページ・学校案内等での情報発信や学校関係者評価により信頼関係を築く必要がある。

イ 改善方策

自己評価を適正に行い、学校関係者評価を基に改善に取り組む。

報告・連絡・相談の徹底により危機管理能力を高め、また職員全員が情報を共有し、不測の事態に対しても迅速・適切・早期の対応を図る。

運営組織は、校務分掌等に明確に定められ、機能的に整備されており、現在のところ大きな問題は生じていない。運営に関わる業務の効率化に向け、見直すべき点があった場合には、修正を図る。

(3) 教育活動

評価項目	評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4・3・2・1
育成人材像を踏まえた修業年限に対応した時間は確保されているか。	4・3・2・1
実践的な職業教育の視点に立ったキャリア教育がなされているか。	4・3・2・1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4・3・2・1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの体系的な位置づけは明確か。	4・3・2・1
人材育成目標の達成に向けた授業を行う教員は確保されているか。	4・3・2・1
関連分野との連携において、優れた教員の確保が図られているか。	4・3・2・1
教職員の能力開発のための研修が行われているか。	4・3・2・1

ア 課題

教員に求める能力・資質等を明確にしており、必要な資格等を明示し、確認している。授業内容については、シラバスが作成され、その内容に基づいた講義が行われ、毎年学生による授業評価アンケートを実施している。教員の人材育成及び優秀な教員の確保については不十分な点があり、研修の充実、企業・団体との連携を密にしてゆく必要がある。

イ 改善方策

今後は、これらの評価を教員にフィードバックし、その結果を生かした授業を実施するよう

に努め、さらなる教育内容の充実を図る。

教職員を研修等に参加させ能力開発・スキルアップを図り、社会のニーズに対応した職業教育の実践を目指す。また、教育課程編成委員等を通じて企業・関連団体との連携を深め人材確保に努める。

(4) 学修成果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか。	4・3・2・1
資格取得率の向上が図られているか。	4・3・2・1
退学率の低減が図られているか。	4・3・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4・3・2・1

ア 課題

公務員就職内定率及び就職率向上に向けての取組みを強化したことにより、就職率100%を達成した。今後も個人面談や保護者との三者面談などを通して、一人一人の希望に沿った就職指導を実施しこれまで以上に就職指導の強化を図っていく必要がある。

高レベルの資格取得は達成されていない面があり指導を強化する必要がある。

イ 改善方策

公務員試験に関し、1次試験の獲得点数を多くする努力及び2次試験に向けた指導の強化が必要である。

卒業生の動向については、同窓会等の活用により活躍等の把握に努める。

資格取得に関しては、学生全員が目標資格を取得できるよう担任・教科担当者を中心に全教員が取り組んでいる。平成27年度は、一部の検定において、平均合格率に若干の低下が見られた。今後、教員の指導力を向上させることで対応する。

(5) 学生支援

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
学生相談に関する体制は整備されているか。	4・3・2・1
学生に対する経済的支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4・3・2・1
高校・高等専修学校との連携による職業教育の取り組みが行われているか。	4・3・2・1
保護者と適切に連携しているか。	4・3・2・1
卒業生への支援体制はあるか。	4・3・2・1

ア 課題

進路・就職に関する指導体制として、カリキュラムに「キャリアデザイン講座」を導入して学生の意識高揚を図っている。

支援体制はスクールカウンセラー及びキャリアカウンセラーの設置により確立されている。また、担任制をしき、個別面談を行うとともに就職担当責任者を中心に進路決定や就職活動を支援

している。

公務員への就職を第一希望としている生徒に対しては、まずは公務員試験対策を行い、その結果を見て第二段階として民間就職の指導に切り替えている。民間への就職を第一希望とする生徒に対しては、出願時期を確認しながら対策体制を整えるよう努めている。

ただ、学生への経済的支援、卒業生への支援体制に不十分な点があり、改善の必要がある。

イ 改善方策

求人情報については、より一層の企業訪問・企業開拓の努力により充実した就職先企業の提供を図る。

学生への経済的支援については、国の専門学校生就学支援制度の利用、後援会奨学金制度の充実などで改善を図る。

卒業生への支援体制については、同窓会及び就職先の企業訪問をつうじて情報を広く集め支援を強化する。

(6) 教育環境

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4・3・2・1
防災に対する体制は整備されているか。	4・3・2・1

ア 課題

自習室・パソコン室など学習支援のための施設や機器類が十分に整備され、学生のニーズに対応しているが、それらの使い勝手について常に検討し改善してゆかねばならない。

イ 改善方策

学生意見を取り入れ、より快適な教育環境の向上に取り組む。

災害発生時の対応要領の周知徹底及び災害時備品の定期的な確認を行う。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
学生募集は適切に行われているか。	4・3・2・1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか。	4・3・2・1

ア 課題

学生募集については、毎年学校案内・募集要項を更新・作成し、専修学校団体のガイドラインに即し、適切に行っている。また、広報は、毎年予算計画を作成し、それに基づいた広告・宣伝を行っている。少子化、多数の競合校、高卒求人数の増加等々の影響により、年々入学者の確保が厳しくなっており、引き続き厳しい環境が続くことが予想されことから、より一層の学生募集体制の充実が求められる。

学内で体験入学を毎月行うとともに、高等学校内進学相談会に参加し、入学志望者の相談を積極的に行っている。また、学校ホームページで最新情報を随時更新し、本校の活動内容が分かる情報発信に努めている。

イ 改善方策

入試広報部と教職員全員の連携を深め、真摯な募集活動を展開している。学校訪問、出前授業及び体験授業を引き続き行い学生募集に反映させるとともに、就職率・資格取得率の実績及び本校の魅力をリアルタイムで積極的に部内外にアピールする。

高校訪問やホームページ等の活用などあらゆる面での強化が必要となっている。地域貢献や教育力の向上と併せて学校の特色と魅力をPRし適正な学生募集を行う。

(8) 財務状況

評価項目	評価
中長期的に学校の財務状況は安定しているか。	4・3・2・1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4・3・2・1
財務について会計監査が適切に行われているか。	4・3・2・1
財務情報公開の体制整備はできているか。	4・3・2・1

ア 課題

財務管理状況は適正に行われ、学校運営がなされ、負債もなく運営され、収入と支出のバランスがとれた財務内容となっているが、年々入学者の確保が厳しくなっている状況から、なお一層経費節減を徹底してゆく必要がある。

イ 改善方策

英知を結集して経営安定化への基盤を築いていき、透明性ある定期的な情報の公開により、信頼性・健全性を保持した学校運営を行う。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4・3・2・1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4・3・2・1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4・3・2・1
自己評価結果を公開しているか。	4・3・2・1

ア 課題

関係法令及び設置基準等に基づき学校運営を行い、必要な届出等を適切に行っている。また学校運営に必要な規則・規定等を整備し、適切に運用している。

個人情報に関しては、学生一人一人の尊厳を重視し、書面にて保護を誓約しており、厳重にかつ慎重に取り扱うよう、教職員全員に周知徹底を図っている。「個人情報の保護に関する規定」も整備されており、重要書類の管理は金庫で行い、書類の廃棄はシュレッダーを活用するなど注意を払っている。

イ 改善方策

学校自己評価を適正に行い、学校関係者評価を真摯に受け止めて改善に取り組む。また、学校関係者評価歴が浅い事から、より実効性のあるように評価項目等の見直しを実施し、より適切な自己評価が実施できるよう改善を進める。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4・3・2・1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4・3・2・1
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4・3・2・1

ア 課題

開校以来、全校挙げて年2回の献血協力を行っている。また、本校に接している芳賀池公園の清掃作業等に積極的にボランティア活動として参加しているなど、本校におけるボランティア活動は良好であるが、地域への公開講座・教育訓練の受託には不十分な点があり、なお一層積極的に取り組む必要がある。

イ 改善方策

関係各位への感謝の気持ちを伝えることをテーマに、地域に密着した更なる社会貢献活動の発案・実施を目指す。

積極的なボランティア活動を行うことにより、継続的に社会貢献の役割を果たしていく。

5 総合評価

学生募集では前年度の進路実績の成果により、200名の入学予定者を確保できた。ビジネス系学科の学生は、2年連続で就職内定率100%を果たした。公務員系学科の学生は、昨年度の最終合格率を下回る結果となった。今年度の結果等を踏まえ、原因の分析検討、対策の強化及び指導の徹底を図り、公務員合格率の向上に万全を期す所存である。

教職員が学生の夢を叶えるため最大限の努力と、報告・連絡・相談の徹底に努め危機管理意識をもって、職務に邁進できるよう魅力ある職場環境づくりに努める。

本学の使命は「社会に有用な人材の育成」であり、引き続きふるさと福島の復旧・復興を担う若人の育成に努める。